

# (株) 新はこだて協同

## — 第3次中期経営計画 —

期間：令和2年度～令和4年度

### 目 次

#### 第2次中期経営計画の総括について

■ 第2次中期経営計画の総括 \_\_\_\_\_ P 138

#### 各事業と経営の現状について

■ 各事業と経営の現状

1. 事業の状況 \_\_\_\_\_ P 140

2. 経営状況 \_\_\_\_\_ P 140

#### 第3次中期経営計画の基本方針等について

■ 基本方針等 \_\_\_\_\_ P 141

#### 組織・事業・収支計画について

■ 組織・事業取扱・総合収支計画 \_\_\_\_\_ P 142

## ☀ 第2次中期経営計画の総括

第2次中期経営計画では基本方針に基づき、地域社会のインフラ（生活基盤）の一翼を担う事業展開に向けた体制整備を取り進め、地域に愛される事業展開を実践してまいりました。

売上減少により、収支が厳しい生活店舗事業については、今後の経営の見通しを踏まえ、店舗の廃止、更なるローコスト運営に向けたシステム導入等を行いました。

その他、各部門ごとに重点施策の達成に向けて各方策を実践してまいりましたので、その達成状況と達成評価に対する要因等について、ご報告致します。

重点施策		実施方策	具体的取り組み方策
1	生活店舗事業の経営改善と新規事業の検討	店舗の在り方の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローコスト運営と来店客数の回復</li> <li>・売上、収益目標の達成度合いに応じた対応の検討</li> </ul>
		新規事業参入に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要等の検討</li> </ul>
2	需要減少に耐えられる燃料事業の構築	S Sの立地環境に即した販売量の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域独自の販促企画の実施強化</li> <li>・配送油、プロパン利用客の維持・獲得</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農用燃料の安定供給</li> </ul>
		販売強化に向けた体制再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス、配送事業担当集約による営業力強化</li> <li>・一重殻タンク S Sへの対応</li> </ul>
3	持続可能な整備事業の確立	車検、整備件数の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用顧客の取引深化に向けた営業力強化</li> <li>・S Sとの事業提携</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継技術者の育成</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設老朽化への対応方策策定</li> </ul>
		事業再編計画の策定	



評価基準：A（達成：81～100%）、B（ほぼ達成：51～80%）、C（未達成：0～50%）

評価	達成状況・達成評価に対する要因等	次期に向けた課題等
A	A マートシステムを円滑に導入することができ、従業員によるシステム運用も順調に進んでいます。	A マートシステム移行後の取扱高、コストの検証と一層の業務改善に取り組む。
-	葬祭業の新規参入について検討しましたが、実施しないこととしました。	地域密着、特徴ある店舗運営に努める。
B	競合激戦区でポイントシステムの独自企画実践やSNS活用による宣伝媒体の活用を図りました。	地域に根ざす販促企画の実施強化。
B	全SSで訪問推進の実施しました。	既存客訪問推進は継続的に実施する。
A	自然災害時用発電設備の設置による供給設備の充実を実施しました。	-
B	ガス事業所を新設しましたが、更なる機能強化が課題です。	給油所との連携業務と業務・事務改善に努める。
A	給油所老朽化対策の計画を策定し、順次改修を進めることとしました。	計画に基づき改修を実施する。
B	営業力強化に取り組み、事業取扱高については目標を達成しましたが、事業総利益については未達成に終わりました。	原因検証と対応策の検討を引き続き行う。
B	給油所と共催で外販と展示会を実施しましたが、日常での連携業務については継続課題となりました。	地域特性と相互の機能を検証し、引き続き実施する。
B	新規採用者2名中1名を育成実践中です。	引き続き育成を行うとともに、人材確保に努める。
-	引き続き対策等を検討します。	組合員ニーズや地域特性を反映した運営方法を検討する。

# 各事業と経営の現状

## 1. 事業の状況（生活・燃料・整備事業）

（株）新はこだて協同

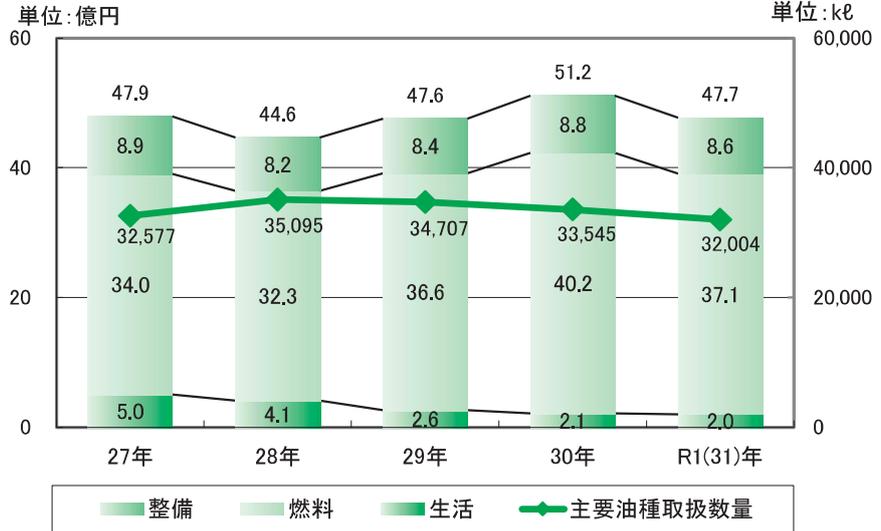
各事業と経営の現状

生活・燃料・整備の経済3事業は、需要の減少、高齢化による消費人口の減少、価格競争の激化により、厳しい事業環境にあります。

そのような中、平成29～30年度は上昇に転じたものの、R1(31)年度には再び減少しております。

生活店舗事業においてはAマートシステムを導入し、更なる低コスト運営による利益確保に取り組んでおります。

図-1 生活・燃料・整備事業供給高・主要油種取扱数量の推移の推移



※平成28年度からAコープ若松店は営業譲渡しているため、生活事業の実績には含まれておりません

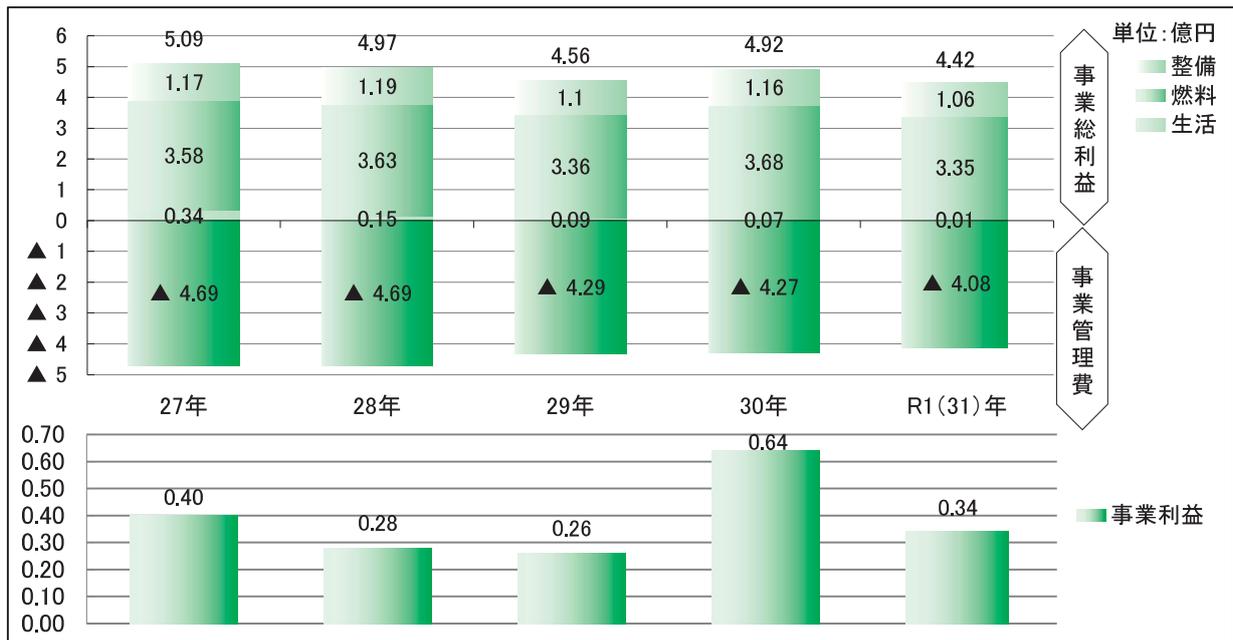
## 2. 経営状況

### 3事業の総利益は減少しているものの、各事業の効率化により黒字経営を確保

前項に示した事業展開の結果、各事業の総利益は横ばい傾向で、総体の事業総利益も横ばい傾向にあります。事業利益については、事業管理費の削減により確保できている状況にあります。

しかし、事業管理費の削減は限界を迎えつつあり、収支の安定化を図るためには各事業での更なる事業伸張を図っていかなくてはなりません。

図-2 事業総利益・事業管理費・事業利益の推移



## 🌟 第3次中期経営計画の基本方針等について

### □ 基本方針

経済三事業（生活・燃料・整備）は、地域社会の大幅な環境変化の中で耐える事業体制整備を取り進めるとともに安定供給に努め、地域に支持される事業を実践してまいります。

また、営業収支の厳しい事業については、今後の経営の見通しを踏まえ、施設再編の協議、検討に取り組んでまいります。

#### 重点施策1 生活店舗事業の経営改善と社会環境の変化に対応

実施方策	具体的取り組み方策
生活店舗の収支改善	・ 地域人口の減少に伴う取扱高の減少に耐えるローコスト運営に取り組む
地域ニーズに即した販売企画の実践	・ 地域需要に即した販売企画に取り組む

#### 重点施策2 地域に支持される燃料事業の構築と安定供給の体制維持

実施方策	具体的取り組み方策
地域独自の販促企画の実施強化	・ SNS発信などの取り組みによる販売企画の強化 ・ 地域需要に即した販促企画の強化
施設老朽化に伴う施設整備の協議	・ 収支状況分析による計画的整備の検討

#### 重点施策3 信頼される整備事業の展開と販売力の強化

実施方策	具体的取り組み方策
整備事業収益の向上	・ 車検・整備件数の拡大を図る ・ SSと連携して取引顧客の拡充を図る ・ 技術者の育成を図る
施設老朽化に伴う施設整備の協議	・ 収支状況分析による施設整備の検討

# ☀️ 組織・事業取扱・総合収支計画

## 1. 組織計画

単位：人

項目		令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社員	一般社員	40	43	43	43
	常勤嘱託	14	18	18	18
	計	54	61	61	61

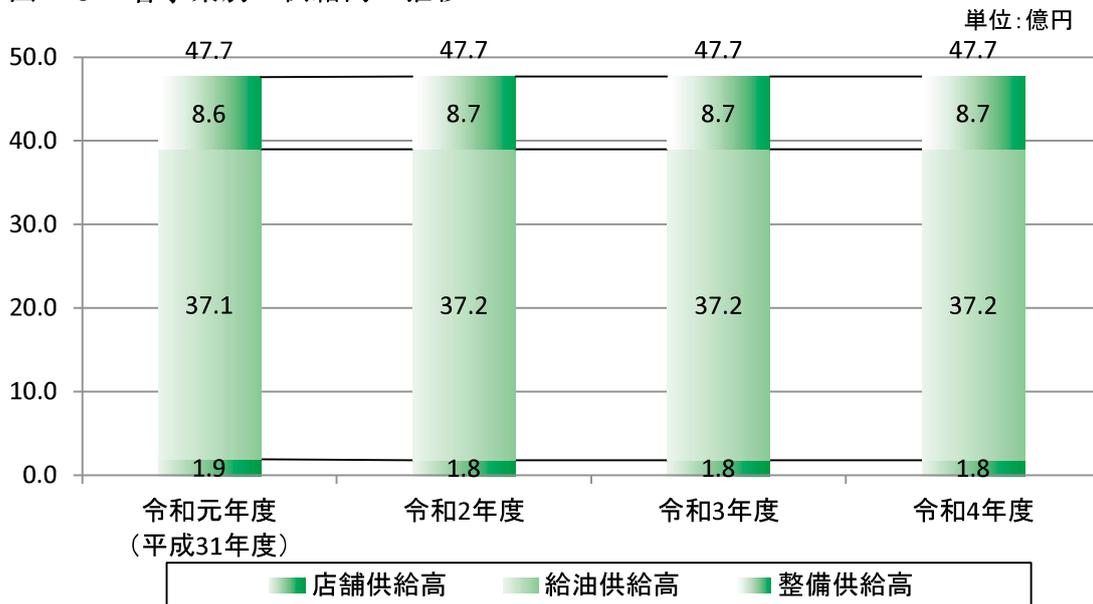
※常勤嘱託とは、正社員に準ずる身分（労働条件）で、雇用期間は概ね1年以上継続しているものであり、臨時的・季節的雇用者を除く。

## 2. 主要事業取扱計画

単位：百万円

項目		令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
店舗事業	店舗購買品	198	185	185	185
給油事業	給油購買品	3,710	3,721	3,721	3,721
整備事業	整備購買品	864	871	871	871
合計		4,774	4,778	4,778	4,778

図-3 各事業別の供給高の推移



### 3. 総合収支計画

単位：千円

項目	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活店舗事業総利益	510	4,882	4,882	4,882
給油事業総利益	335,667	321,260	331,260	331,260
整備事業総利益	106,079	103,008	103,008	103,008
事業総利益	442,252	429,150	439,150	439,150
事業管理費	408,018	415,370	425,168	431,515
事業利益	34,234	13,780	13,982	7,635
事業外損益差引	▲ 21	▲ 21	▲ 21	▲ 21
経常利益	34,213	13,759	13,961	7,614
特別損益差引	3,257	0	0	0
税引前当期純利益	37,470	13,759	13,961	7,614

図-4 部門別事業総利益の推移

